令和６年度　基本評価調書		所管部局	環境生活部	所管課	道民生活課	
施策名	交通事故のないまちづくり			施策コード	0302	
政策の柱	安全・安心			政策体系コード	2(6)A	
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策					事務事業数 7
特定分野別計画	第11次北海道交通安全計画					
SDGs				総合判定	順調	
予算額（千円）	R6	90,548千円	R5	84,705千円	R4	89,758千円

施策目標	第11次北海道交通安全計画に基づき、高齢者の交通事故の防止や飲酒運転の根絶などの交通安全意識の向上や普及啓発活動を関係機関等と連携して推進し、交通事故のない安全で安心な社会を目指す。
現状と課題	（交通安全意識の高揚） ・交通事故死者数は減少傾向にあるが、65歳以上の高齢運転者が原因となった事故死者数の減少幅が小さいことから、高齢化社会を踏まえた総合的な交通安全対策を推進する必要がある。 ・道内で飲酒運転を伴う死亡事故が後を絶たないことから、飲酒運転根絶に関する施策を総合的に推進する必要がある。

〈主な取組〉

今年度の取組	（交通安全意識の高揚） ・道民の交通安全意識の向上により交通事故防止を図るため、関係機関・団体等と連携し交通安全運動を推進する。 ・高齢者の交通事故を防止するため、運転免許を自主返納しやすい環境づくりや、高齢者に対する交通安全教育を推進する。 ・飲酒運転根絶を実現するため、啓発活動などにより意識の醸成を図るとともに、関係機関・団体・事業者等と連携し施策を推進する。
実績と成果	（交通安全意識の高揚） ・「春」「夏」「秋」「冬」の期別運動（年間延べ40日）を、関係機関・団体、市町村等と連携して全道で実施し、交通安全意識の高揚を図った。（秋の交通安全運動R5.9.21～R5.9.30、冬の交通安全運動R5.11.13～R5.11.22、春の交通安全運動R6.4.6～R6.4.15、夏の交通安全運動R6.7.13～R6.7.22） ・運転免許を返納しやすい環境づくりのため、北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度を推進した。（R3末 44事業者309店、R4末 63事業者337店、R5末 70事業者342店） ・身体機能の低下が及ぼす影響の理解や安全運転の意識向上を図るため、高齢運転者支援講習会を市町村と共催で開催した。（R5 計4町村開催） ・「飲酒運転根絶の日（7月13日）」を中心に、民間企業等の協力による知事メッセージの発信や、全道14箇所において関係機関・団体と連携した飲酒運転根絶総決起大会の開催、飲食店訪問等の啓発を行い、飲酒運転根絶に向けた機運の醸成を図った。（R6 決起大会：14箇所開催、飲酒運転根絶の日における街頭啓発等の取組：14箇所実施　） ・飲酒運転の危険性や飲酒が身体に及ぼす影響等を啓発するため、児童・生徒向け教育パンフレットを作成し、全道の小・中・高1年生に配布した。（R5.10 小学校 974校、中学校 587校、高校 277校 配布）

参考HP①	交通安全に関する施策・情報	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/kat/
参考HP②		
参考HP③		

令和6年度 基本評価調書	【2(6)A_0302】交通事故のないまちづくり

〈**指標分析**〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	減少	人	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
交通事故死者数(暦年)		目標値	134	134	134	134	102.3%	A
		実績値	120	115	131			

設定理由	北海道の1年間の交通事故状況を示す数値であり、北海道をはじめ関係機関・団体等、北海道全体で、高齢者の交通事故対策や飲酒運転根絶など交通安全対策に取り組んだ成果を測る指標として設定。
指標公表時期	毎年調査、翌年1月公表
出典(根拠計画等)	北海道警察調べ

分析(主な取組と成果)

関係機関等と連携した各種取組を継続的に行うことにより、交通事故死者数は長期的には減少傾向にある。一方で、交通死亡事故発生件数に占める高齢運転者の割合は高い水準にあり、飲酒運転を伴う交通事故も後を絶たないことから、関係機関と連携し、高齢運転者の事故防止及び飲酒運転根絶に向けた各種取組を強化する必要がある。

指標名②			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名③			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名④			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

令和6年度 基本評価調書	【2(6)A_0302】交通事故のないまちづくり

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 65歳以上の高齢運転者が原因となった交通事故発生件数は、長期的には減少傾向にあるが、直近3年間(R3とR5)を比較すると件数は増加しており、また、飲酒運転を伴う交通事故も後を絶たないことから、関係機関・団体、市町村、企業等と連携して施策に取り組む必要がある。 (取組と成果) 国、関係各部局、市町村及び関係団体と連携を取りながら、「春」「夏」「秋」「冬」の期別運動や飲酒運転根絶総決起大会等の啓発活動を行い、交通安全意識の向上を図っている。 キリンビール(株)と協力した飲酒運転根絶に向けた街頭啓発(R6.4など)、損害保険ジャパン(株)と連携したシニアドライバー向け安全運転講習会の実施(R5.9など)など、民間企業の協力を得て交通安全意識の高揚を図っている。
緊急性 優先性	(課題) 65歳以上の高齢運転者が原因となった交通事故発生件数は、長期的には減少傾向にあるが、直近3年間(R3とR5)を比較すると件数は増加している。 (取組と成果) ・市町村や民間企業との連携による高齢者運転者向けの講習会の開催や北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の運用により、高齢運転者に対する交通安全教育や自主返納しやすい環境づくりを推進している。

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
高齢運転者(65歳以上)による交通事故発生件数	2,311件(R3)	2,343件(R4)	2,520件(R5)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
交通事故死者数は減少傾向にあり、65歳以上の高齢運転者が原因となった交通事故発生件数は、平成26年の2,674件からみると増減を繰り返しながら緩やかな減少傾向で推移しているが、今後も高齢化の進展が見込まれることから、高齢化社会を踏まえた総合的な交通安全対策を推進する必要がある。

(状況) 65歳以上の高齢運転者が原因となった交通事故発生件数は、課題に記載のとおり長期的には減少傾向にあるが、直近3年間のR3年からR5年を比較すると件数は増加しており、高齢化社会を踏まえた総合的な交通安全対策を推進する必要がある。	b

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
高齢運転者(65歳以上)による死亡交通事故発生件数 (死亡交通事故発生件数に占める高齢者の構成率)	40件(34.8%)(R3)	38件(36.9%)(R4)	31件(27.9%)(R5)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
交通事故死者数は減少傾向にあるが、65歳以上の高齢運転者が原因となった死亡交通事故発生件数の構成率は3割を超えているため、高齢化社会を踏まえた総合的な交通安全対策を推進する必要がある。

(状況) 直近3年間における65歳以上の高齢運転者が原因となった死亡交通事故発生件数は減少傾向にあるが、全体件数に占める構成率は直近3年間(R3～R5)の平均で3割を超えており、今後も高齢化が加速していくことから、総合的な交通安全対策の推進が必要となっている。	b

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
飲酒運転を伴う交通事故件数	92件(R3)	72件(R4)	86件(R5)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
飲酒を伴う交通事故が後を絶たないことから、飲酒運転根絶に関する施策を総合的に推進する必要がある。

(状況) 飲酒運転を伴う交通事故件数は減少傾向にあるが、依然として発生している状況にあるため、飲酒運転根絶に向けた施策の推進が必要となっている。	b

令和6年度 基本評価調書	【2(6)A_0302】交通事故のないまちづくり

〈総合判定〉

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	b		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

（該当なし）

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	道民の交通安全意識の向上及び交通事故防止の徹底を図るための交通安全運動や交通安全教育の推進を継続的に行う。
	②	いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となり、75歳以上の高齢者の安全の確保は一層重要となることから、北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の推進や高齢運転者向けの講習会など高齢運転者の事故防止対策を継続して行う。
	③	飲酒運転を伴う事故が後を絶たないことから、「飲酒運転根絶の日」の決起大会開催など、飲酒運転根絶に関する施策を継続して行う。

〈二次政策評価〉

二次政策評価	

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応		
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	道民の交通安全意識の向上及び交通事故防止の徹底を図るため、関係機関・団体等と連携し、期別運動を始め、総合的な交通安全施策を継続して推進する。
	②	高齢者の交通事故を防止するため、高齢運転者が運転免許を自主的に返納しやすい環境づくりや高齢者に対する交通安全教育を継続して推進する。
	③	「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」の施行から10年になり、社会全体で飲酒運転根絶に取り組むため、飲酒運転根絶の意識醸成に向けた施策を強化する。

令和６年度　事務事業評価調書	施策名	交通事故のないまちづくり	施策コード	0302

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト(千円)	一次政策評価 対応方針番号	方向性	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応(令和6年度) 次年度方向性	二次評価意見への対応状況
0601		一般	北海道交通安全推進委員会補助金	(公財)北海道交通安全推進委員会が実施する交通安全普及啓発事業等各種事業に対する補助	道民生活課		50,654	50,654	0.2	0.0	0.2	52,256			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減について検討を行っていくこと。		北海道交通安全推進委員会は、交通安全運動を推進する中核団体として重要な役割を果たしてきており、今後も北海道交通安全計画を推進する上で、幼児や高齢者の交通事故防止事業や交通安全推進員による交通安全活動等を実施する同団体の活動は欠かすことができないことから、補助金を継続する。
0602		一般	交通安全指導促進事業費補助金	北海道交通安全指導員連絡協議会が実施する指導員研修等各種事業に対する補助	道民生活課		7,233	7,233	2.5	0.0	2.5	27,258			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減について検討を行っていくこと。		北海道交通安全指導員連絡協議会は、交通安全指導員による街頭での歩行者の指導等を行うなど道内の交通安全に多大に寄与してきており、今後も北海道交通安全計画を推進する上で、交通安全指導員による交通安全活動は欠かせないことから、補助金を継続する。
0603		一般	交通死亡事故抑止対策事業費	交通死亡事故の抑止を図るため高齢者の事故防止や居眠り運転事故防止に関する業務	道民生活課		1,460	1,460	0.9	2.2	3.1	26,291	①②	改善(取組分析)		改善	
0604		一般	飲酒運転根絶推進関連事業	「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」の制定等を踏まえ、社会全体で飲酒運転根絶に取り組むための事業	道民生活課		20,137	20,137	1.8	0.6	2.4	39,361	③	改善(取組分析)		拡充	
0605		一般	交通事故相談所運営費	交通事故被害者からの相談に応ずる相談所の運営に関する業務	道民生活課		11,064	11,064	0.1	0.3	0.4	14,268					
0606		一般	運転免許自主返納促進事業費	高齢運転者が運転免許を自主的に返納しやすい環境づくりに関する業務	道民生活課		0	0	0.2	0.0	0.2	1,602					
0632		事務	交通安全対策の企画及び実施に関する事務	交通安全に関する計画策定、関係会議・協議会等の開催、運動の推進方針の企画・実施、庁内及び関係機関との調整、交通事故統計及び情報提供、年次報告書等作成、照会調査・報告、調査統計業務に関する事務	道民生活課		0	0	2.7	7.1	9.8	78,498					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
計						0	90,548	90,548	8.4	10.2	18.6						